

平成22年度 一般会計の決算

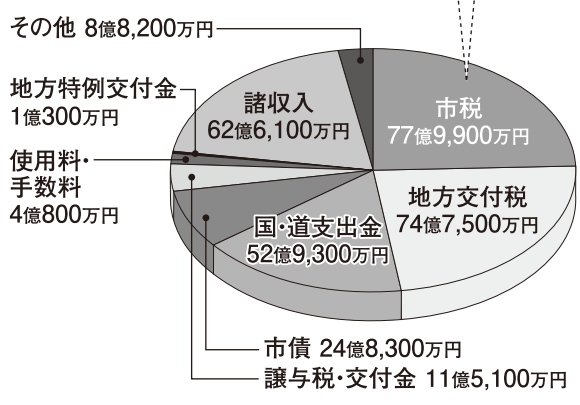
歳入総額=318億5,000万円

※前年度 315億2,000万円(前年比 1.1%増)

Point

- ・**市税** 景気低迷等による個人所得の落ち込みが大きく、前年比1億1,000万円の減少となりました。
- ・**地方交付税** 普通交付税は市民税の減少等や雇用対策・地域資源活用臨時特別費の新規創設に伴う増、特別交付税は大雨災害や大雪に伴う増により、前年比3億3,800万円の増加となりました。
- ・**市債** 臨時財政対策債の増により4億1,800万円の増加となりました。

都市計画税(6億5,100万円)の充当先
 ・下水道事業 2.7%
 ・公債費 97.3%(街路、公園、下水道)
 入湯税(700万円)の充当先
 ・消防施設等の整備 7.4%
 ・観光振興 83.9%
 ・その他 8.7%



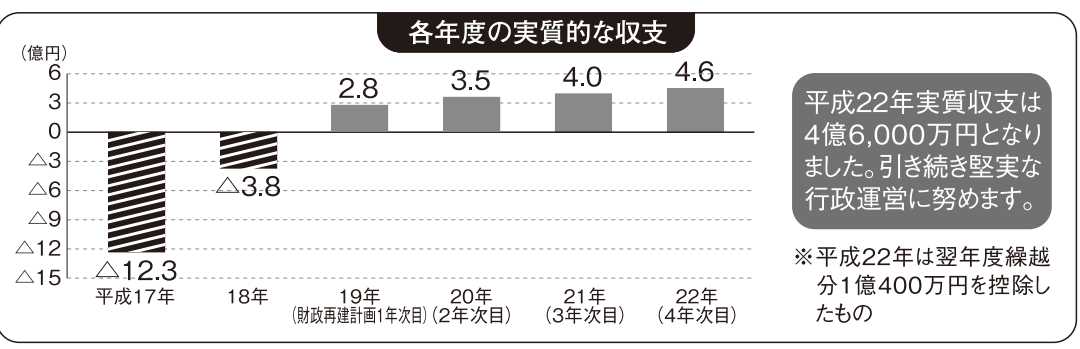
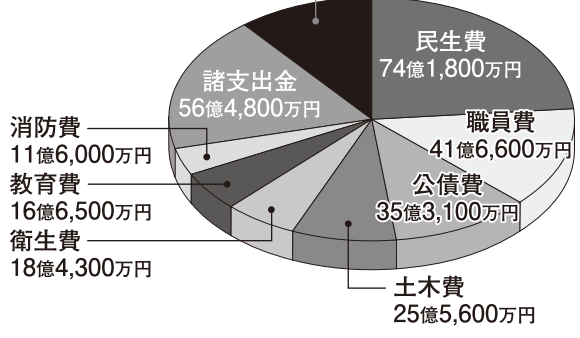
歳出総額=312億9,000万円

※前年度 309億6,000万円(前年比 1.1%増)

Point

- ・**民生費** 子ども手当制度の増設や国民健康保険事業特別会計繰出金等の増により、10億6,000万円の増加となりました。
- ・**労働費** 重点分野雇用創造事業等により前年比6,400万円の増加となりました。

歳出の項目については
 ③②①④⑤⑥
 をご覧ください。



いしかりの財政状況

市では、6月と12月に予算および決算の状況をお知らせしています。今回は平成22年度の決算の内容および健全化判断比率と、23年度の予算の上半期執行状況についてお知らせします。

※金額は概数としています

もっと詳しく!!

●性質別にみた歳出



義務的経費である公債費は減少していますが、扶助費の合計は、子ども手当などの社会保障関連経費の増加により、前年比約9億6,000万円増となりました。

また、投資的経費である建設事業費は地域情報通信基盤整備事業や児童センター建設事業などにより、前年比約1億5,000万円増となりました。

毎年の決算を分かりやすく紹介した「いしかりの家計簿」と「石狩市の財政」は市HPでご覧いただけます。

平成22年度 特別会計の決算

国民健康保険事業で赤字決算となりました。

※簡易水道事業は、平成22年度より水道事業と統合しました

特別会計区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険	71億8,000万円	79億3,000万円	△7億5,000万円
国民健康保険診療所	1億3,700万円	1億3,000万円	700万円
老人保健	250万円	190万円	60万円
後期高齢者医療	5億7,000万円	5億6,000万円	1,000万円
介護保険	37億9,000万円	37億3,000万円	6,000万円
介護サービス	8,100万円	7,800万円	300万円
個別排水処理施設整備	3,100万円	3,100万円	0円
土地取得	42万円	42万円	0円
特定環境保全公共下水道	1億6,000万円	1億6,000万円	0円

平成22年度 企業会計の決算

※四捨五入のため、収支額が合わないことがあります

水道事業会計	収入額	支出額	収入支出差引額
収益的収支	15億1,000万円	15億1,000万円	600万円
資本的収支	11億8,000万円	16億6,000万円	△4億8,000万円

公共下水道事業会計	収入額	支出額	収入支出差引額
収益的収支	11億8,000万円	11億4,000万円	4,000万円
資本的収支	5億5,000万円	10億1,000万円	△4億7,000万円

平成22年度

健全化判断比率

前年度に引き続き
早期健全化基準
をクリア!

実質公債費比率と将来負担比率は前年より改善しました。

指標	石狩市の健全化判断比率 ()は前年数値	早期健全化基準 (イエローカード)	再生基準 (レッドカード)	全道平均	順位※速報値 (全道35市中)
実質赤字比率	該当なし(該当なし)	12.7%	20%	—	—
連結実質赤字比率	該当なし(該当なし)	17.7%	35%	—	—
実質公債費比率	11.9%(12.2%)	25%	35%	12.8%	13位
将来負担比率	154.4%(166.1%)	350%	—	97.6%	26位

財政再建計画

「石狩市財政再建計画」は、市役所1階情報公開コーナーや図書館で閲覧できるほか、市HPでもご覧いただけます。

市では、平成18年度に策定した「石狩市財政再建計画」による自主的な財政再建に取り組んでいます。

平成23年3月に第4次改訂を行い、「事務事業の見直し」による効果額や「中期財政見直し」について、平成21年度決算および22年度の最終予算や23年度当初予算を反映し、数値の整理を行いました。

今後も、市民の暮らし・安全や地域経済の動向を注視しながら、財政再建の取り組みの持続とさらなる行政経費の圧縮に努め、引き続き堅実な行財政運営を進めていきます。

平成23年度 予算の上半期執行状況

会計名	歳入予算	収入済	収入率※	歳出予算	支出済	支出率※		
一般会計	308億5,000万円	125億9,000万円	40.8%	308億5,000万円	166億5,000万円	54.0%		
特別会計	国民健康保険	79億2,000万円	30億円	37.8%	79億2,000万円	38億5,000万円	48.6%	
	国民健康保険診療所	1億4,000万円	7,000万円	47.3%	1億4,000万円	6,000万円	42.1%	
	後期高齢者医療	5億8,000万円	2億3,000万円	39.1%	5億8,000万円	2億円	34.8%	
	介護保険	38億2,000万円	16億5,000万円	43.3%	38億2,000万円	15億1,000万円	39.5%	
	介護サービス	8,000万円	6,000万円	76.9%	8,000万円	5,000万円	66.3%	
	個別排水処理施設整備	4,000万円	3,000万円	72.3%	4,000万円	1,400万円	38.3%	
	土地取得	45万円	49万円	109.2%	45万円	21万円	46.6%	
	特定環境保全公共下水道	1億7,000万円	9,000万円	54.0%	1億7,000万円	7,000万円	44.5%	
企業会計	水道	収益的収支	14億8,000万円	7億1,000万円	48.0%	15億6,000万円	4億6,000万円	29.7%
		資本的収支	12億円	3億7,000万円	30.9%	16億7,000万円	4億9,000万円	29.6%
	公共下水道	収益的収支	11億5,000万円	7億5,000万円	65.1%	11億7,000万円	3億円	26.8%
		資本的収支	9億9,000万円	8,000万円	8.6%	14億6,000万円	5億8,000万円	49.6%

※老人保健会計は、平成23年度より廃止しています ※円単位で率を計算しているため、億円単位で計算すると合わないことがあります